11月 めだか通信234号

桐生市教育支援センター「あぷろーち」



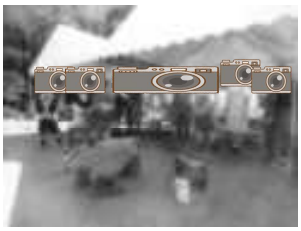
朝晩めっきり寒さが増してきて、秋本番を感じます。水道山の木々の葉も色付き、教育支援センター周辺の景色はすっかり秋の装いになりました。

１０月はたくさんの行事を計画していましたが、すべて予定通りに実施できました。行事の中でたくさんの子どもたちの笑顔を見ることができ、充実した月になったと思います。

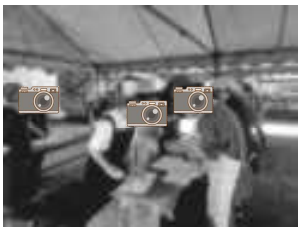
１１月もたくさんの行事が予定されています。寒さが一段と厳しくなるので生活リズムが崩れ、体調不良になりがちですが、健康管理をして楽しい行事にしていきましょう。

＜野外体験学習＞

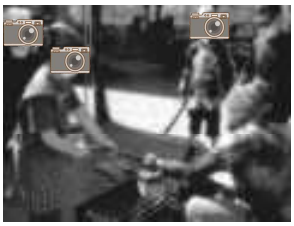
野外活動センターで野外体験学習を行いました。爽やかな風が吹く秋晴れの最高の天気の下、薪割りや飯ごう炊飯、かまどを使ったカレー作りを行いました。薪割りに初めて挑戦する子どもたちもいましたが、上手に割ることができました。かまどを使っての調理や飯ごう炊飯は火加減が難しく、水を加えたり、薪を足したりしながらうまくできました。日常では経験できないことが野外活動センター職員さんの指導のお陰で安全に実施できました。完成したカレーライスとフルーツのヨーグルト和えをお腹いっぱい食べ、ご飯以外は完食でした。後片付けも短時間で終え、わずかな自由時間もやまびこ遊びやカードゲームを楽しんでいました。全員で協力して充実した活動ができました。これからも体験を通して成長する子どもたちを応援したいと思います。



【薪割り指導】



【準備も手際よく】



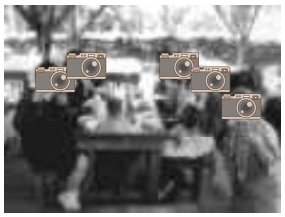
【飯ごう炊飯に挑戦】



【火加減が難関】



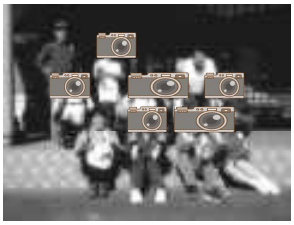
【カレールー投入】



【いただきま～す】



【熱戦！ババ抜き】



【楽しかったね！】

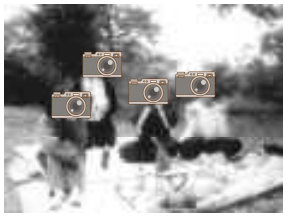
ふれあい活動④ ＜大川美術館訪問＞

身近にある美術館を訪問し、体験を通して鑑賞のマナー、社会性を育てる目的でふれあい活動「大川美術館訪問」が行われました。

当日は、「大川美術館と高崎美術館コレクションによるベン・シャーン・つたえる手」が開催されていました。子どもたちは、静かな環境の中でじっくりと作品を鑑賞し、気に入った作品をスケッチしたり、感想を書いたりしていました。鑑賞後、水道山公園に登り、昼食を取りました。秋空のもとでのお弁当とカップ麺の味は格別なものだったのではないでしょうか。のんびり、ゆったりした豊かな時間が流れていました。

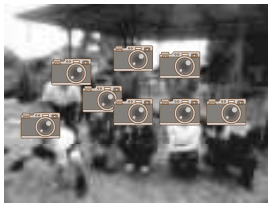


【学芸員さんの説明】



【水道山公園でのランチタイム】



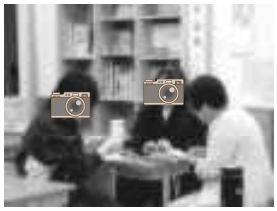


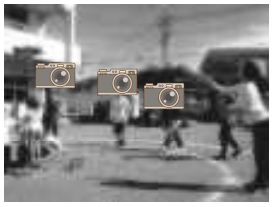
【はい、ポーズ！】

【裏面に続く】

ふれあい活動⑤〈幼稚園訪問〉

爽やかな秋空の下、西幼稚園へ訪問しました。とっても明るく可愛い園児と砂遊びなど思い思いに遊んでから、赤と青の２チームに分かれて玉入れとリレーに参加しました。教室に入ってからは牛乳パックコマや折り紙コマ回しをして遊びました。たくさん一緒に遊んだのですぐに打ち解け、楽しく交流することができました。素直でのびのび活動する園児とのふれあいを通して、通所生も何か温かいものを感じたような笑顔でした。短い訪問でしたが、笑顔あふれる時間になりました。

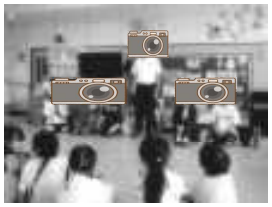

【折り紙こま作り】

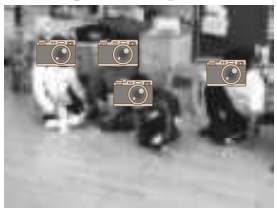

【玉入れ】

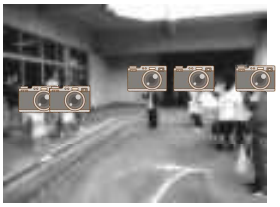

【リレー】


【石鹸水遊び】

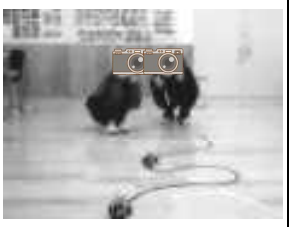

【砂遊び】


【始めの挨拶】


【コマ回し】


【バイバイ！】

【プログラミング体験】



鹿貫サイエンスドクターを講師にお招きしてプログラミングを学びました。プログラミングは物事を整理して考える力や柔軟な発想力が養われると言われています。今回は床にはった黒いテープに沿って車を走らせるプログラムをタブレットを使って入力し、命令通りに走るかを試しました。スピードや曲がり方を工夫しながら楽しく車を走らせ、プログラミングの基礎を学びました。あっという間に時間が過ぎて２時間がとても短く感じました。



【めだかのつぶやき】　「マスカレード・ホテル」

ミステリー作家の東野圭吾さんが６８歳という若さで亡くなりました。本好きだった妻と息子が話題にしていた「白夜行」や「容疑者 X の献身」を読んでファンになりました。一番お薦めな一冊は長澤まさみ(山岸尚美)と木村拓哉(新田浩介）主演で２０１９年に映画化された「マスカレード・ホテル」。様々な人が集まり、生活するホテルを舞台にした作品なので、いくつもの人間ドラマが起こり、登場人物たちの感情の動きがとても自然で細やかに描かれ、映画も原作も引き込まれました。

見所はホテルクラークの尚美と警察官の新田が自らの職業への誇りを持ちながら相手の誇りを認め合って成長していく姿。連続殺人犯の新たな犯行がホテルで起こると判明し、捜査のために渋々協力することになったふたりが頻繁にぶつかり合いながら犯行を防ぐために協力。最後は大胆なトリックを使ったエンディングに驚嘆。映画を観てから原作を一気に読んでしまいました。

福井駅前の「ルートインホテル」に宿泊した時、対応してくれたフロントクラークは山岸尚美さんのようにこちらのミスを優しく受け止め、親身に対応してくれ感激しました。福井に行った時には絶対にまた泊まろうと思っています。

よい出逢いで人は変わるんですね。

※　「マスカレード」の意味は仮面、仮装。
　ホテルに来る人々は、お客様という仮面を被り、仮面舞踏会を楽しんでいるという解釈です。

【今後の予定】

11月上旬	ふれあい活動⑥（織物体験）
11月中旬	調理実習③（大根料理）
11月中旬	運動日④（奉仕活動）
12月上旬	ふれあい活動⑦（餅つき）
12月中旬～下旬	チャレンジ期間
12月中旬	報告会② 14:00
12月中旬	調理実習④（ケーキ作り）
12月下旬	終わりの会（終業式）
1月上旬	始めの会　（始業式）
1月下旬	運動日⑤（運動会）
2月上旬	ふれあい活動⑧（工芸）
2月下旬	報告会③・お別れ会

２０２６年１１月１日発行
TEL　４６－６３１４